

東北数学教育学会会員のみなさまへ

東北数学教育学会長 山崎 浩二

例年にない冬の暖かさのおかげで早めの桜の便りが聞かれる春の訪れとなりました。
会員のみなさまにおかれましては、お元気でお過ごしのことと存じます。

新年度を迎え、本来であれば入学式、始業式や開講式、新入生や新学年のガイダンスにと、キャンパスに学校に新たな息吹があふれるはずでしたが、残念ながら、新型コロナウイルスによる感染者数の拡大とその予防のため、対面を伴う様々な集まりや会議を控えることとなっています。

5月に予定されていましたが初夏研究会についても、副会長の森本明先生、会場校の佐藤学先生ともその開催の是非を慎重に検討いたしました。特に、東北地区は、都心や関東地区に比べ感染の度合いはまだ比較的少なく、4月以降は例年通りの学校暦で始まっている地区もあるため、開催に踏みきる選択肢もあり得ました。また、テレワーク等を活用した遠隔による開催の可能性についても探ってみました。しかし、多くの大会や研究集会等が中止や延期となる現状であること、5月に入っても感染状況の見通しがつかず予断を許さないこと、会場校である秋田大学の感染対策の事情にも考慮する必要があること、そしてさらには、何よりも参会者のみなさまの安心と安全を第一に考える必要があることなどを考慮し、今回は中止せざるを得ないという結論に至りました。

これまで、発表等に向けてご準備いただいていたみなさま、当日の研究交流を心待ちにされていたみなさま、そして実施に向け様々な構想を描きつつ会場のご準備もいただいていた佐藤先生はじめ秋田大学の先生がた、学生のみなさまには、本当に申し訳ないのですが、何とぞご理解のほど、よろしく願いいたします。

なお、秋の年会につきましては、今後の状況を踏まえ、検討を続けて参りたいと思っております。

最後になりますが、今後、このような状況が一日でも早く収束し、みなさまとまわりの方々の平穏な日々が戻ることをお祈りいたします。

みなさまと、またお会いできる日を楽しみにしております。

令和2年4月10日